

平成19年度 大学院入学者選抜試験問題(第2次)

専門科目

経済政策・経済史・経営各論・会計分野

以下の問1～問5の中から1問を選んで解答しなさい。

問1 (経済政策) 以下の(1)、(2)、(3)の設問に答えよ。

設立当初のIMFの国際間の資本移動に関する認識と、現在のIMFの認識との間には大きな隔たりがある。

- (1) 両者の違いはなにか？
- (2) なぜ、違うようになったのか？
- (3) 現状をIMFの設立当初のシステムに戻すことは可能か？

問2 (経済政策) 以下に示した(1)、(2)、(3)の中から一つを選び、日本における実態や政策の内容を踏まえながら、これからの望ましいあり方について、あなたの考えを述べなさい。

- (1) 食料政策
- (2) 農業構造政策(農業経営政策)
- (3) 条件不利地域政策

問3 (経済政策) 日本において税制改革をどう進めるかについて論じなさい。

問4 (経営各論) 以下の(1)、(2)、(3)のうちいずれか1題を選び、解答せよ。

- (1) 今日の企業をとりまく実践的な経営課題にはどのようなものがあるか。主要な課題をいくつかあげ、あわせて基本的な対処方向についても述べよ。
- (2) 今新しく事業を始めるとする。その場合、考慮すべきこと、検討すべきことにはどのようなことがあるか、説明せよ。
- (3) 企業経営において人と組織のあり方はきわめて重要なことである。では、今日の企業をとりまく情勢の下で、人と組織のあり方にどのようなことが要請されているか。また、これを受けて企業側としてはどのような方策をとっているか、自らの知るところや考えを述べよ。

問5 (会計学) 原価主義、時価主義、低価主義を比較論評しなさい。できれば最近の日本の制度会計における時価主義導入の動向にも触れること。